



事務局ニュース 〈9号〉 2017. 11. 9

10月末にはめずらしく台風(21号・22号)が日本列島を横断し、講習会や大会などの開催にご心配をおかけしました。

秋から一気に冬へと変わるこのごろですが、9月末から3日間にわたり行われた「レインボーカップマスターズ」をはじめ、「愛知スポーツクリエイションフェスティバル」「日本マスターズ長距離大会」などマスターズ大会がいくつか行われました。ジュニアの活躍も素晴らしいですが、昨今マスターズ人口が増え、大変盛り上がってきています。来年7月には、日本マスターズ選手権大会兼第1回アジアマスターズ水泳選手権大会が日本がイアリーナで行われることもあり、ますます期待が高まっています。

フレイヤレンジ 2017 泳力検定名古屋短水路大会

10月8日、「日本ガイシ30周年記念大会」として、上記大会に寺川 綾さん(トヨタ五輪・背泳ぎ銅メダリスト)をお迎えして行われました。参加者は、素晴らしい泳ぎを見せていただき、またサインもいただき大変喜んでいました。この大会は、25mのプールを使うため25m種目(4~7級)と100m個人メドレー(2級)しかありません。ただ、初めてタイムトライアルを体験する選手にはもってこいの大会です。名古屋市の水泳教室に通って泳げるようになったお子さんがお父さんと参加したり、スイミングクラブのコーチが初級者を連れてきたり、中には成人の方も記録に挑戦してみえました。お孫さんを連れて参加された保護者は、「自分が大会に出場したときより緊張しました。本人も緊張しすぎてスタート直後、自分の泳ぐ種目がわからなくなったそうですが期待以上の記録が出て喜んでいました」と感想を述べてくれました。

CAMO 国際招待飛込競技大会に出場

11月30日から12月3日の間、カナダのモントリオールで開催されるCAMO国際招待飛込競技大会に選手として若林佑希子(愛工大名電高校2年)さんが、コーチとして柴田哲治さんが参加されることになりました。この大会は、日本水泳連盟がジュニア選手強化の一環として、若い時期から国際大会を経験させることをねらい「日本代表派遣選手選考方針」に従って(コーチ4名、男子選手2名、女子選手5名)派遣されることになりました。

選手たちはこの機会に世界のトップ選手たちと一緒に練習・競技するなど素晴らしい環境の中でたくさんの刺激を受けることと思います。言葉が通じないながらもいろいろな場面での交流を通して、たくさんのことを経験し学んでほしいと思います。若林選手にとって、この度の派遣が初の海外遠征ということもあり、今、本人が一番緊張していることと思います。カナダ行きの楽しい想像や競技に対する不安の中で、練習に一段と熱がこもっている様子が伺えます。コーチとしてもたくさんのことを吸収し、一緒に良い思い出作りをしたいと思っています。日本ジュニアチームの選手たちの活躍に大きな応援をよろしくお願ひします。

(柴田コーチより)

私は、小学4年生から飛込を始め、今年で8年目になります。最初、カナダに行けると聞いてとても驚きましたが、今シーズン、インターハイや全国JOCで頑張っただけで本当に良かったと思いました。このようなチャンスはめったにないことですし、海外の選手たちと自分がどこまで戦えるのか知る良い機会だと思って、カナダ行きの決心をしました。海外遠征は初めてのなので、言葉や時差など不安はいろいろありますが、日頃全国大会で競い合っている選手達と一緒にに行けることがとても心強く、楽しみです。自分が今できることを精一杯やってみたくさんのことを学んでみたいです。今回の遠征を応援してくれる家族や愛知水泳連盟の先生方、柴田コーチ、名古屋が化`ン`グ`クラブのみんな、愛工大名電の先生、水泳部の仲間達、皆さんに感謝しています。今回のカナダ遠征が、これから役に立つように頑張りたいと思います。

(若林選手より)

先日、飛込チームが日本がイアリーナで練習しているところをみてきました。この施設は、マットが敷き詰められており、安心して飛ぶことができるので、他県からうらやましがられているそうです。

飛込の魅力・楽しさをもっともっと伝えてください!!

